

**学生による授業評価と
卒業生・大学院修了生による教育評価**

平成 21 (2009) 年 8 月

京都大学大学院文学研究科・文学部

まえがき

学校教育法第 109 条には、「大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。」と規定されています。この規定を受け、京都大学大学院文学研究科・文学部は、平成 7 年度、平成 15 年度、平成 20 年度に自己点検・評価報告書を刊行してきました。

これらの報告書とは別に、教育面については、平成 18 年度から第 2 委員会によって学部生による授業評価がアンケート形式で毎年実施されています。また学生が志望専修を決定するうえでガイダンスが適切に行われているかどうかを知るために、平成 19 年度から第 3 委員会によって卒業生に対してアンケート調査を行ってきています。しかしながら、これらのアンケートについては結果が集計されているものの、集計結果に対して分析を施したうえで、それを研究科として共有し今後の教育に活用するまでには至っていませんでした。

そこで自己点検・評価委員会では、これまでに行われたアンケート結果を分析するとともに、新たに院生を対象とした授業評価、ならびに修士課程修了生と博士課程修了生を対象とした文学研究科の教育一般についてアンケート調査を行いました。これらのアンケート調査の結果を集計し、分析したものがこの小冊子です。

なお、アンケートの回収と集計については教務掛、編集にあたっては総務掛の職員の方々にひとかたならずお世話になりました。あつくお礼申し上げる次第です。

平成 21 (2009) 年 8 月

京都大学大学院文学研究科・文学部

自己点検・評価委員会委員長 吉 田 和 彦

目 次

1. 学部生による授業評価アンケート	1
1.1 アンケート本紙	2
1.2 結果と分析	3
1.3 データ	10
2. 大学院生による授業評価アンケート	27
2.1 アンケート本紙	28
2.2 結果と分析	29
2.3 データ	34
3. 文学部卒業生アンケート	35
3.1 アンケート本紙	36
3.2 結果と分析	38
3.3 データ	44
4. 文学研究科修士課程修了者アンケート	53
4.1 アンケート本紙	54
4.2 結果と分析	56
4.3 データ	62
5. 文学研究科博士後期課程修了者アンケート	63
5.1 アンケート本紙	64
5.2 結果と分析	66
5.3 データ	71

1. 学部生による授業評価アンケート

1.1 アンケート本紙

京都大学文学部「学生による授業評価」(系共通科目・学部講義用)

このアンケートは、文学部系共通科目(学部講義)の授業について、学生の皆さんからの意見を聴き、専門基礎にかかわる授業・カリキュラム編成に関して今後の改善に役立てようとするためのものです。率直な意見を記入してください。

①～⑫の質問について、5-4-3-2-1の5段階のうちで最もよく当てはまる数字に○印を付けてください。5が最高の評価で、1が最低の評価です。⑬は自由記述です。

●授業科目名 () ●担当教員名 ()
●あなたの所属学部 () ●あなたの回生 ()

I. あなたの授業への参加度について

① この授業にほとんど出席した。
(100%←→20%)
5-4-3-2-1

られた。

② この授業に積極的に参加し、自主的に学習した。
5-4-3-2-1

II. 授業の内容について

② この授業はわかりやすかった。
5-4-3-2-1

④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた。
5-4-3-2-1

ていた。

⑤ この授業は面白かった。
5-4-3-2-1

⑥ この授業は有益だった。
5-4-3-2-1

⑬ この授業についての感想、授業の内容・方法などについて希望、改善してほしい点、授業環境についての要望などを書いてください。

III. 授業の方法について

⑦ 声は聞き取りやすかった。
5-4-3-2-1

⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進め

5-4-3-2-1

⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があ

5-4-3-2-1

⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた。
5-4-3-2-1

VI. 総合的な評価

⑪ シラバスの内容と授業の内容はよく合致し

5-4-3-2-1

⑫ 全体としてこの授業に満足した。

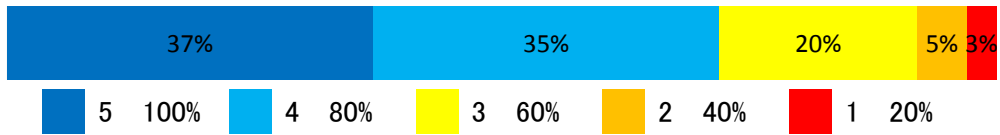
5-4-3-2-1

1.2 結果と分析

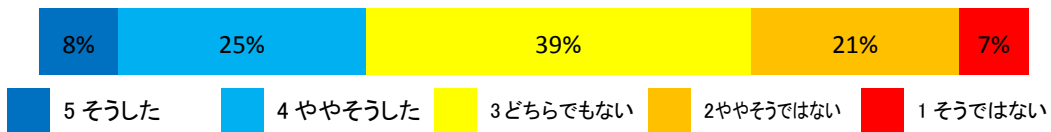
対象者 671名 回答者 196名 回収率 29%

I あなたの授業への参加度について

① この授業にはほとんど出席した



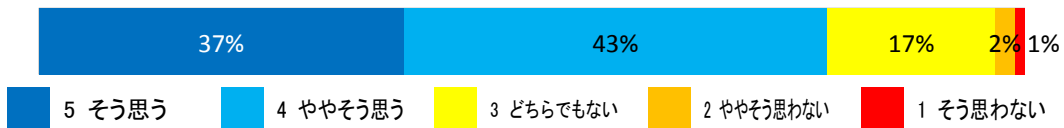
② この授業に積極的に参加し、自主的に学習した



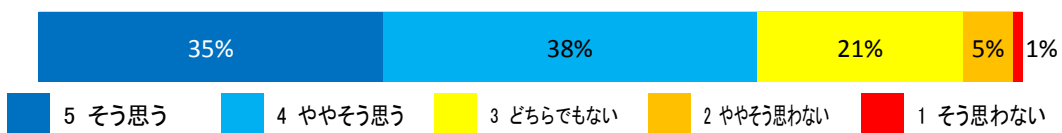
3以上の評価が全体の92%を占めているために、出席状況は良好であったと言えるだろう。ただ、授業に積極的に参加し、自主的に学習したかについては、評価が低くなっている。アンケート調査の対象になったのが、入門的な系共通科目であることを勘案するならば、自学自習がそれほど必要でなかったとも考えられる。

II 授業の内容について

③ この授業はわかりやすかった



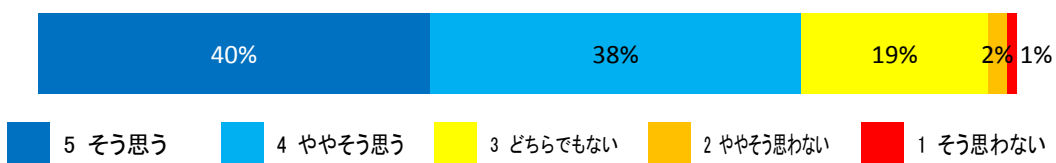
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた



⑤ この授業は面白かった



⑥ この授業は有益だった



授業の明晰さ、体系的、面白さ、有益度について、すべてきわめて高い評価を受けている。

III 授業の方法について

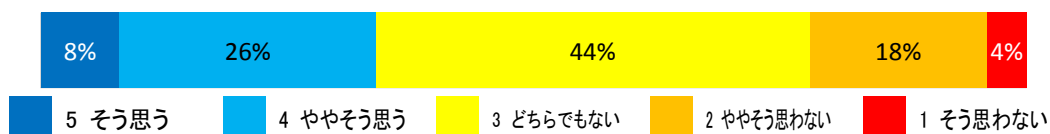
⑦ 声は聞き取りやすかった



⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた



⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった



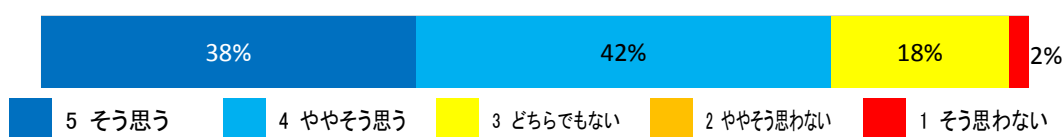
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた



授業内容の聞き取りやすさと授業に対する教員の熱意という項目については、非常に高い評価が与えられている。それに対して、学生の理解度や反応に対する配慮および自主的な学習を促すための工夫という項目については、少し評価が下がっている。これは、受講生の数がかかり多い講義形式の授業であるために、双方向的な討議が困難であることが一因かと考えられる。

IV 総合的な評価

⑪ シラバスの内容と授業の内容はよく合致していた



⑫ 全体としてこの授業に満足した



1と2という評価が全体の1%ないし2%にすぎない。シラバスの内容と授業内容との整合性および全体的な満足度については、高い評価が与えられていると考えられる。

1.3 データ

京都大学文学部「学生による授業評価（系共通科目）」〈平成20年度実施〉

全体集計

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	72	68	40	9	7	196
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	15	48	77	41	14	195
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	72	84	33	4	2	195
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	67	74	42	10	1	194
⑤ この授業は面白かった	96	66	31	2	1	196
⑥ この授業は有益だった	79	74	37	5	1	196
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	107	69	14	6	0	196
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	32	58	75	27	3	195
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	16	50	86	36	8	196
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	86	73	29	7	1	196
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	72	80	35	1	3	191
⑫ 全体としてこの授業に満足した	83	76	33	2	1	195

※5が最高、1が最低の評価

全学年集計

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	18	12	11	0	2	43
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	2	13	12	12	4	43
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	20	14	9	0	0	43
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	10	17	14	2	0	43
⑤ この授業は面白かった	26	10	7	0	0	43
⑥ この授業は有益だった	19	14	9	1	0	43
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	21	18	4	0	0	43
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	13	15	14	1	0	43
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	2	14	20	5	2	43
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	20	18	4	1	0	43
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	17	19	7	0	0	43
⑫ 全体としてこの授業に満足した	25	13	5	0	0	43
計	193	177	116	22	8	

※5が最高、1が最低の評価

文学部2回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	15	5	2		2	24
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	2	8	6	5	3	24
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	10	9	5			24
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	5	11	6	2		24
⑤ この授業は面白かった	15	5	4			24
⑥ この授業は有益だった	12	7	5			24
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	11	11	2			24
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	8	6	10			24
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	2	7	13	1	1	24
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	11	10	3			24
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	9	11	4			24
⑫ 全体としてこの授業に満足した	14	7	3			24
計	114	97	63	8	6	

※5が最高、1が最低の評価

文学部3回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	1	3	3			7
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した		4	1	2		7
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	4	2	1			7
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	1	3	3			7
⑤ この授業は面白かった	5	1	1			7
⑥ この授業は有益だった	2	3	2			7
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	5	1	1			7
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	2	4	1			7
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		1	3	3		7
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	2	4	1			7
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	2	4	1			7
⑫ 全体としてこの授業に満足した	5	1	1			7
計	29	31	19	5	0	

※5が最高、1が最低の評価

文学部4回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)		1	2			3
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した。			2	1		3
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった。	3					3
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2	1				3
⑤ この授業は面白かった	2	1				3
⑥ この授業は有益だった	2			1		3
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	3					3
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	2				3
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		2	1			3
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	2	1				3
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	2	1				3
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2	1				3
計	19	10	5	2	0	

※5が最高、1が最低の評価

文学部科目等履修生、教育学部生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	2	3	4			9
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した		1	3	4	1	9
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	3	3	3			9
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2	2	5			9
⑤ この授業は面白かった	4	3	2			9
⑥ この授業は有益だった	3	4	2			9
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	2	6	1			9
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	2	3	3	1		9
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		4	3	1	1	9
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	5	3		1		9
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	4	3	2			9
⑫ 全体としてこの授業に満足した	4	4	1			9
計	31	39	29	7	2	

※5が最高、1が最低の評価

全学年集計

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	4	8	2	1	1	16
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	4	1	7	3	1	16
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	7	8	1	0	0	16
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	8	4	3	1	0	16
⑤ この授業は面白かった	12	1	3	0	0	16
⑥ この授業は有益だった	9	3	4	0	0	16
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	11	5	0	0	0	16
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	4	3	8	0	1	16
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	2	7	5	1	1	16
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	14	2	0	0	0	16
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	10	6	0	0	0	16
⑫ 全体としてこの授業に満足した	10	5	1	0	0	16
計	95	53	34	6	4	

※5が最高、1が最低の評価

文学部2回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	3	5		1		9
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	2	1	3	2	1	9
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	2	7				9
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	3	4	1	1		9
⑤ この授業は面白かった	6	1	2			9
⑥ この授業は有益だった	4	3	2			9
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	5	4				9
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	1	6		1	9
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	3	4	1		9
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	7	2				9
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	4	5				9
⑫ 全体としてこの授業に満足した	5	3	1			9
計	43	39	19	5	2	

※5が最高、1が最低の評価

文学部3回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)		3	1			4
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1		2	1		4
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	2	1	1			4
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2		2			4
⑤ この授業は面白かった	3		1			4
⑥ この授業は有益だった	2		2			4
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	3	1				4
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	1	2			4
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		2	1		1	4
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	4					4
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	3	1				4
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2	2				4
計	23	11	12	1	1	

※5が最高、1が最低の評価

文学研究科修士他

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	1		1		1	3
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1		2			3
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	3					3
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	3					3
⑤ この授業は面白かった	3					3
⑥ この授業は有益だった	3					3
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	3					3
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	2	1				3
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	2				3
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	3					3
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	3					3
⑫ 全体としてこの授業に満足した	3					3
計	29	3	3	0	1	

※5が最高、1が最低の評価

全学年集計

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	12	3	5	2	0	22
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	4	4	13	0	1	22
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	9	6	5	2	0	22
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	7	7	4	4	0	22
⑤ この授業は面白かった	14	5	2	1	0	22
⑥ この授業は有益だった	13	4	4	1	0	22
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	8	10	3	1	0	22
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	2	8	6	5	0	21
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	5	8	4	4	1	22
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	13	6	2	1	0	22
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	7	7	6	0	1	21
⑫ 全体としてこの授業に満足した	12	5	3	1	0	21
計	106	73	57	22	3	

※5が最高、1が最低の評価

文学部2回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	7	2	3	1		13
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	2	2	8		1	13
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	4	2	5	2		13
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	3	2	4	4		13
⑤ この授業は面白かった	8	2	2	1		13
⑥ この授業は有益だった	7	1	4	1		13
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	2	9	1	1		13
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた		3	5	5		13
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	2	4	3	3	1	13
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	5	5	2	1		13
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	4	3	5		1	13
⑫ 全体としてこの授業に満足した	6	3	3	1		13
計	50	38	45	20	3	

※5が最高、1が最低の評価

文学部 3 回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	1	1	1			3
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1		2			3
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	2	1				3
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2	1				3
⑤ この授業は面白かった	2	1				3
⑥ この授業は有益だった	2	1				3
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	2		1			3
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1		1			2
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1		1	1		3
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	2	1				3
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	1	2				3
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2	1				3
計	19	9	6	1		

※5が最高、1が最低の評価

文学部 4 回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)			1	1		2
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した			2			2
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった		2				2
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた		2				2
⑤ この授業は面白かった		2				2
⑥ この授業は有益だった		2				2
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった		1	1			2
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた		2				2
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	1				2
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	2					2
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	1		1			2
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2					2
計	6	12	5	1	0	

※5が最高、1が最低の評価

文学研究科修士

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	4					4
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1	2	1			4
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	3	1				4
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2	2				4
⑤ この授業は面白かった	4					4
⑥ この授業は有益だった	4					4
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	4					4
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	3				4
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	3				4
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	4					4
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	1	2				3
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2	1				3
計	31	14	1	0	0	

※5が最高、1が最低の評価

全学年集計

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	15	12	6	2	1	36
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1	8	13	9	4	35
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	6	18	9	1	2	36
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	11	13	8	2	1	35
⑤ この授業は面白かった	14	18	2	1	1	36
⑥ この授業は有益だった	10	17	7	1	1	36
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	22	10	3	1	0	36
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	3	9	15	8	1	36
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	8	15	10	2	36
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	18	14	2	2	0	36
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	15	16	3	0	1	35
⑫ 全体としてこの授業に満足した	11	18	5	1	1	36
計	127	161	88	38	15	

※5が最高、1が最低の評価

文学部2回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	13	8	5	1		27
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した		8	13	4	2	27
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	2	14	8	1	2	27
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	7	10	6	2	1	26
⑤ この授業は面白かった	8	15	2	1	1	27
⑥ この授業は有益だった	6	15	5		1	27
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	14	9	3	1		27
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	7	11	7	1	27
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	6	11	8	1	27
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	12	11	2	2		27
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	9	14	3		1	27
⑫ 全体としてこの授業に満足した	7	15	3	1	1	27
計	80	132	72	28	11	

※5が最高、1が最低の評価

文学部3回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	2	2		1	1	6
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1			2	2	5
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	4	1	1			6
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	4	1	1			6
⑤ この授業は面白かった	5	1				6
⑥ この授業は有益だった	4		2			6
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	6					6
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	1	3	1		6
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		2	2	1	1	6
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	5	1				6
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	5	1				6
⑫ 全体としてこの授業に満足した	4	1	1			6
計	41	11	10	5	4	

※5が最高、1が最低の評価

文学部4回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)		2	1			3
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した				3		3
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった		3				3
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた		2	1			3
⑤ この授業は面白かった	1	2				3
⑥ この授業は有益だった		2		1		3
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	2	1				3
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	1	1	1			3
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった			2	1		3
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	1	2				3
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	1	1				2
⑫ 全体としてこの授業に満足した		2	1			3
計	6	18	6	5	0	

※5が最高、1が最低の評価

全学年集計

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	18	23	9	1	3	54
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	3	18	19	10	4	54
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	23	23	6	1	0	53
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	19	23	10	1	0	53
⑤ この授業は面白かった	24	20	10	0	0	54
⑥ この授業は有益だった	22	25	6	1	0	54
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	33	17	2	2	0	54
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	10	17	19	8	0	54
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	5	12	25	11	1	54
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	19	24	8	3	0	54
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	18	24	10	0	0	52
⑫ 全体としてこの授業に満足した	23	24	7	0	0	54
計	217	250	131	38	8	

※5が最高、1が最低の評価

文学部2回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	15	18	4		2	39
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した		17	14	6	2	39
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	18	14	5	1		38
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	17	15	6	1		39
⑤ この授業は面白かった	18	14	7			39
⑥ この授業は有益だった	17	17	5			39
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	26	10	2	1		39
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	7	14	15	3		39
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	3	10	18	8		39
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	14	18	4	3		39
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	12	18	7			37
⑫ 全体としてこの授業に満足した	17	18	4			39
計	164	183	91	23	4	

※5が最高、1が最低の評価

文学部3回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)		1	1	1		3
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した			2	1		3
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった		3				3
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた		1	2			3
⑤ この授業は面白かった		3				3
⑥ この授業は有益だった		3				3
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	1	2				3
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた			2	1		3
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		1	2			3
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	1	2				3
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた		2	1			3
⑫ 全体としてこの授業に満足した		3				3
計	2	21	10	3	0	

※5が最高、1が最低の評価

文学部4回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)		1	1		1	3
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した			2		1	3
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった		3				3
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた		2				2
⑤ この授業は面白かった	1	1	1			3
⑥ この授業は有益だった	1	2				3
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	1	2				3
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた		2		1		3
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった			2	1		3
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた		1	2			3
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	1	2				3
⑫ 全体としてこの授業に満足した	1	2				3
計	5	18	8	2	2	

※5が最高、1が最低の評価

文学部聴講生・研究生、教育学部生、総人学部生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	3	3	3			9
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	3	1	1	3	1	9
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	5	3	1			9
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2	5	2			9
⑤ この授業は面白かった	5	2	2			9
⑥ この授業は有益だった	4	3	1	1		9
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	5	3		1		9
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	3	1	2	3		9
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	2	1	3	2	1	9
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	4	3	2			9
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	5	2	2			9
⑫ 全体としてこの授業に満足した	5	1	3			9
計	46	28	22	10	2	

※5が最高、1が最低の評価

全学年集計

設 問	5	4	3	2	1	計 (人数)
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	5	10	7	3	0	25
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1	4	13	7	0	25
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	7	15	3	0	0	25
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	12	10	3	0	0	25
⑤ この授業は面白かった	6	12	7	0	0	25
⑥ この授業は有益だった	6	11	7	1	0	25
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	12	9	2	2	0	25
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた	0	6	13	5	1	25
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1	1	17	5	1	25
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	2	9	13	0	1	25
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	5	8	9	1	1	24
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2	11	12	0	0	25
計	59	106	106	24	4	

※5が最高、1が最低の評価

文学部2回生

設 問	5	4	3	2	1	計 (人数)
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した（100%←→20%）	4	10	4	2		20
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した	1	4	10	5		20
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった	7	12	1			20
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	10	9	1			20
⑤ この授業は面白かった	5	10	5			20
⑥ この授業は有益だった	4	9	6	1		20
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	10	6	2	2		20
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた		3	12	5		20
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった	1		14	5		20
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	1	6	12		1	20
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	4	6	7	1	1	19
⑫ 全体としてこの授業に満足した	2	8	10			20
計	49	83	84	21	2	

※5が最高、1が最低の評価

文学部 3 回生

設 問	評 価					計 (人数)
	5	4	3	2	1	
I. あなたの授業への参加度について						
① この授業にはほとんど出席した (100%←→20%)	1		3	1		5
② この授業には積極的に参加し、自習的に学習した			3	2		5
II. 授業の内容について						
③ この授業はわかりやすかった		3	2			5
④ 授業内容は体系的であり、全体によくまとまっていた	2	1	2			5
⑤ この授業は面白かった	1	2	2			5
⑥ この授業は有益だった	2	2	1			5
III. 授業の方法について						
⑦ 声は聞き取りやすかった	2	3				5
⑧ 学生の理解度や反応に配慮して授業が進められた		3	1		1	5
⑨ 自主的な学習を促すための工夫や助言があった		1	3		1	5
⑩ 授業に対する教員の熱意を感じた	1	3	1			5
IV. 総合的な評価						
⑪ シラバスの内容と授業内容はよく合致していた	1	2	2			5
⑫ 全体としてこの授業に満足した		3	2			5
計	10	23	22	3	2	

※ 5 が最高、1 が最低の評価

2. 大学院生による授業評価アンケート

2.1 アンケート本紙

京都大学大学院文学研究科「学生による授業評価」(大学院演習)

このアンケートは、文学研究科の授業について、院生の皆さんからの意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てようとするためのものです。なお1から4の回答にあたっては該当する項目に○印を付してください。5については率直な意見をお書きください。

あなたの専修 ()
授業科目名 ()
担当教員名 ()
あなたの学年 (修士 年次) (博士 年次)

1. この授業はどのような形式でしたか。

- a. 学生が選んだ研究テーマについてディスカッションする形式
- b. 特定の文献・テキストについて、学生が発表することを中心にする形式
- c. 教員の講義を中心とする形式
- d. その他 ()

2. あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。

- a. 80-100%出席した。
- b. 60-79%出席した。
- c. 40-59%出席した。
- d. 20-39%出席した。
- e. 0-19%出席した。

3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？

- a. 大いに役立った。
- b. ある程度役立った。
- c. どちらともいえない。
- d. あまり役立たなかった。
- e. ほとんど役立たなかった。

4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？

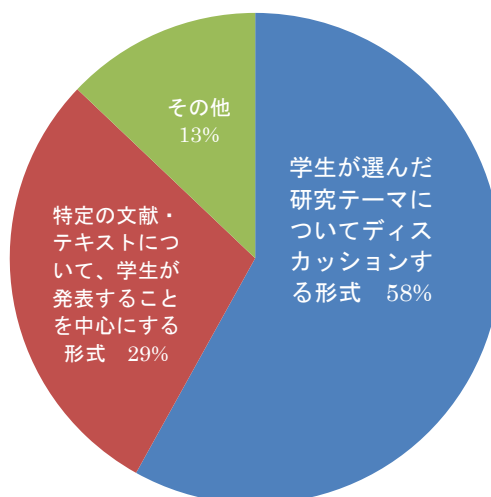
- a. 大いに役立った。
- b. ある程度役立った。
- c. どちらともいえない。
- d. あまり役立たなかった。
- e. ほとんど役立たなかった。

5. この授業についての感想、授業の内容・方法などについて希望、改善してほしい点、授業環境についての要望などを自由に書いてください。

2.2 結果と分析

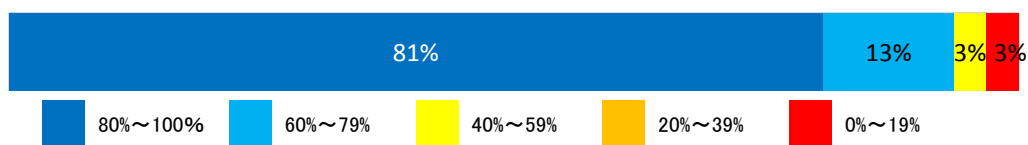
対象者 79名 回答者 31名 回収率 39%

1 この授業はどのような形式でしたか？



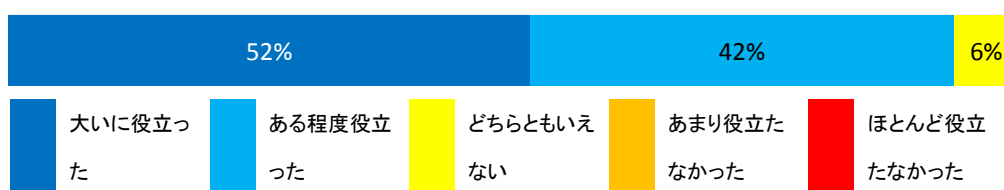
評価対象になったどの授業も少人数の演習である。授業の形式は、関心を寄せているテーマについて院生が発表を行った後、全員で討議するものと、特定の文献資料やテキストの読解を中心にして意見交換を行うものがあった。いずれの場合も、教員の講義を聴くだけの受身の授業ではなく、主体的な参加が求められる授業である。

2 あなたはこの授業にどれくらい出席しましたか？



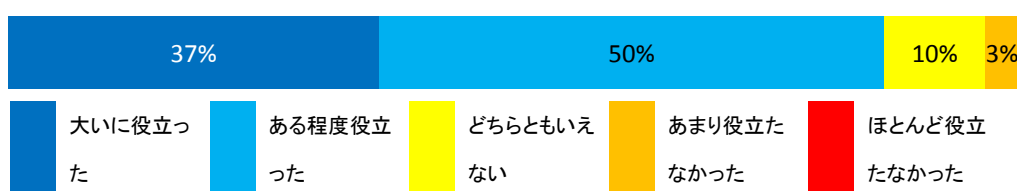
80~100%出席した院生は81%、さらに60%~79%出席した院生を加えると94%にのぼり、出席率はきわめて高いとすることができる。

3 この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？



「大いに役立った」と回答した院生は 52%、さらに「ある程度役立った」と回答した院生を加えると 94%になる。「あまり役立たなかった」および「ほとんど役立たなかった」と回答した院生は皆無であった。さらに博士後期課程の院生に限れば、全員が「大いに役立った」あるいは「ある程度役立った」と答えている。したがって、文学研究科の特徴である少人数教育が、院生の問題発見能力の向上に向けて寄与していると受けとめることができる。

4 この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？



「大いに役立った」と回答した院生は 37%、さらに「ある程度役立った」と回答した院生を加えると 87%になる。「ほとんど役立たなかった」と回答した院生はいなかったが、1名が「あまり役立たなかった」と答えている、若干ではあるが、3の問題発見能力の向上という項目に比べて、パーセンテージが低くなっている。おそらく問題を発見する能力については、他の院生の発表や自分の研究と直接関わらないテキストの読解であっても、それらを通して一般的な視点から培うことができると考えられる。他方、自分が取り組んでいる問題を解決する能力については、自助努力に任せられるところが大きいのであろう。またこの点については、主たる指導教員による博士論文作成のための個人指導が重要な役割を果たしているように思われる。

2.3 データ

1. この授業はどのような形式でしたか。	(人数)
a. 学生が選んだ研究テーマについてディスカッションする形式	18
b. 特定の文献・テキストについて、学生が発表することを中心にする形式	9
c. 教員の講義を中心とする形式	0
d. その他 (学生が教員の指導のもとで音韻分析を行う形式・隔週で、院生の論文の合評と、特定のテキストについて講読する形式を交互に行う・学生の研究発表の後、質疑応答・特定の文献・テキストについて、学生が読解することを中心にする形式と大学院生が発表した論文について合評する形式)	4
2. あなたはこの授業にどれぐらい出席しましたか。	(人数)
a. 80－100%出席した。	25
b. 60－79%出席した。	4
c. 40－59%出席した。	1
d. 20－39%出席した。	0
e. 0－19%出席した。	1
3. この授業が問題発見能力の向上に役立ちましたか？	(人数)
a. 大いに役立った。	16
b. ある程度役立った。	13
c. どちらともいえない。	2
d. あまり役立たなかった。	0
e. ほとんど役立たなかった。	0
4. この授業が問題解決能力の向上に役立ちましたか？	(人数)
a. 大いに役立った。	11
b. ある程度役立った。	15
c. どちらともいえない。	3
d. あまり役立たなかった。	1
e. ほとんど役立たなかった。	0

3. 文学部卒業生アンケート

3.1 アンケート本紙

京都大学文学部 卒業生アンケート

ご卒業おめでとうございます。京都大学文学部の研究教育環境をより良くしていくためのアンケートにご協力をお願いいたします。該当する項目に丸を付けてください。それが「その他」であった場合には、内容を簡潔に説明してください。

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？

- a. はい
- b. いいえ

2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？

- a. 入学以前にすでに決めていた。
- b. 入学直後に決めた。
- c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。
- d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。
- e. その他
()

3. 志望動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）

- a. その専修で行われている研究の分野に興味があった。
- b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が気に入った。
- c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。
- d. 卒業のための単位認定が比較的安全かつ確実に得られそうだった。
- e. その他
()

4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？

- a. ほぼ予想したとおりだった。
- b. 予想とはかなり違う面があったが、それでも十分に満足だった。
- c. 予想とは異なっており、少々失望した。
- d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。
- e. その他
()

5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いませんか？

- a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。
- b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。
- c. そうした機会がもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。
- d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。
- e. その他
()

6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？

- a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。
- b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。
- c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。
- d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。
- e. その他
()

7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？

- a. 十分に満足している。
- b. それなりに満足している。
- c. どちらとも言えない。
- d. 後悔している。
- e. その他
()

8. 4月以降の進路についてお聞きします。

- a. 大学院進学（他大学も含む）
- b. 一般企業に就職
- c. 官庁、地方自治体等に就職
- d. 教員、司書等の専門職に就職
- e. その他
()

**9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？
(複数回答可)**

- a. 専門的知識
- b. 専門分野の研究能力
- c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力
- d. 一般的な教養
- e. 国際感覚
- f. 外国語の能力
- g. リーダーシップ
- h. 社会的常識
- i. その他
()

10. お差し支えなければ、あなたが属していた系をお教えてください。

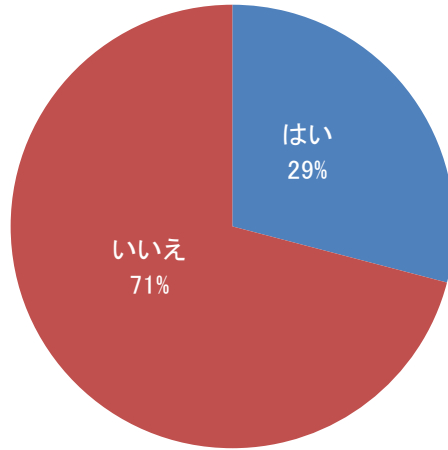
哲学基礎文化学、東洋文化学、西洋文化学、歴史基礎文化学、行動・環境文化学、基礎現代文化学

11. その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

3.2 結果と分析

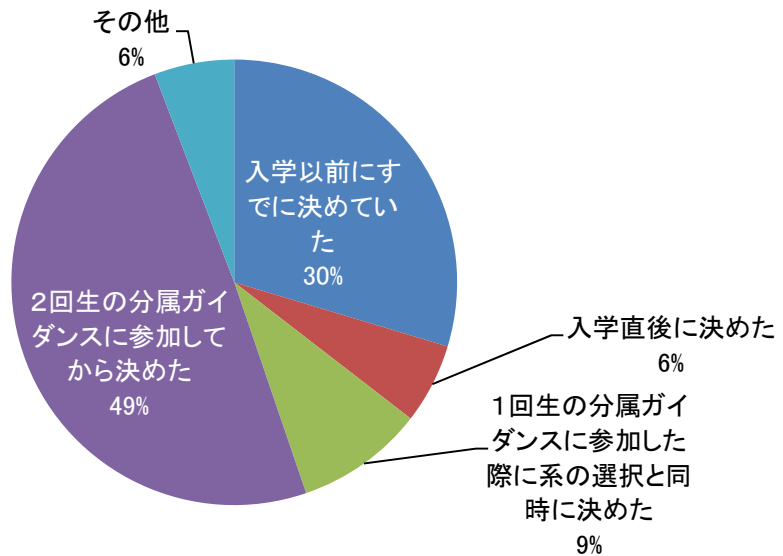
対象者 186 人 回答者 172 人 回収率 93%

1 あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？



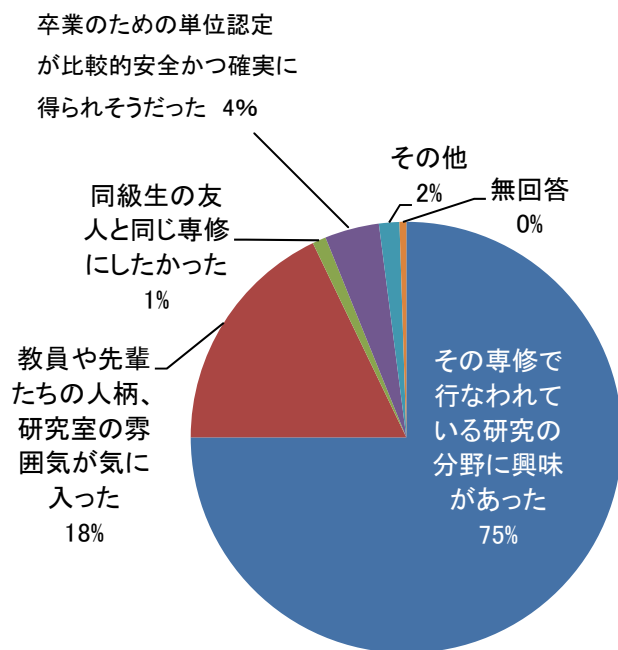
回答者のうちの約 3 割がオープンキャンパスに参加している。京都大学の入学者が全国いたるところからの出身であることを鑑みると、オープンキャンパスへ参加した近隣の高校生が京都大学文学部に入学した割合は非常に高いように思われる。

2 あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？



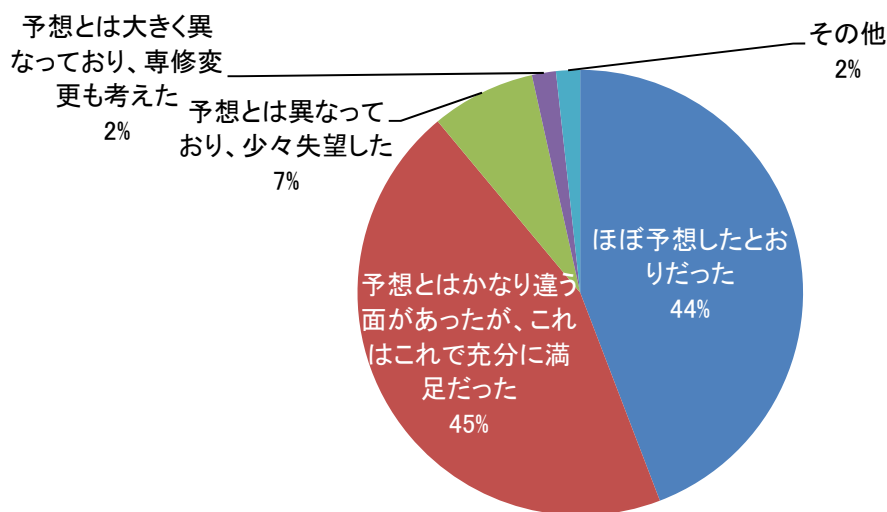
入学以前にすでに決めていたという回答が 30%、入学直後に決めたが 6%、1 回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めたが 9%、2 回生の分属ガイダンスに参加してから決めたが 49%、その他が 6%であった。入学以前に志望専修を決めていた学生もかなりの割合を占めるが、分属ガイダンス、特に専修分属ガイダンスに参加してから決めたという学生が 6 割近くにのぼることを考えると、専修決定においてガイダンスが大きな影響を与えていることが分かる。

3 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）



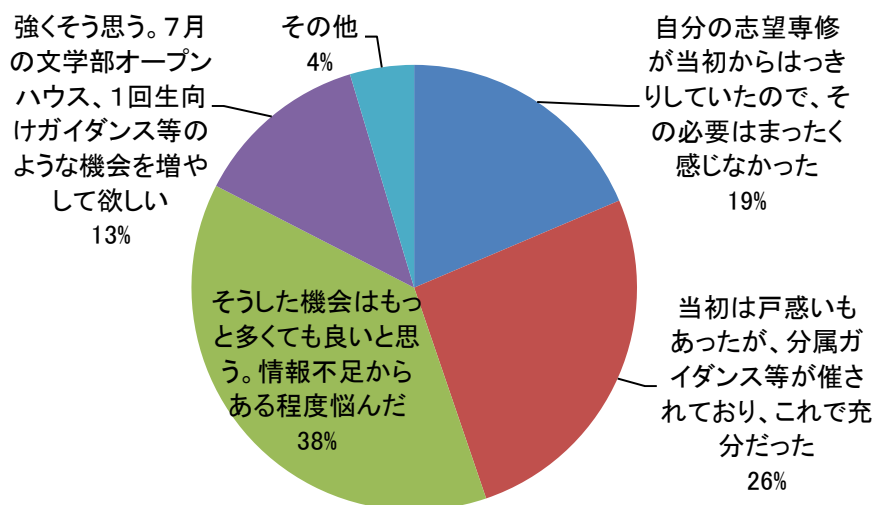
専修で行われている研究分野に興味があったという回答が 75%を占めている。このことから志望動機のほとんどは、学生の関心が専修の教育・研究内容と一致しているかどうかにかかっていると言えるだろう。したがって、専修の特徴を周知する意味でもガイダンスを段階的に行うことは重要と考えられる。

4 実際に専修に進学してみてどうでしたか？



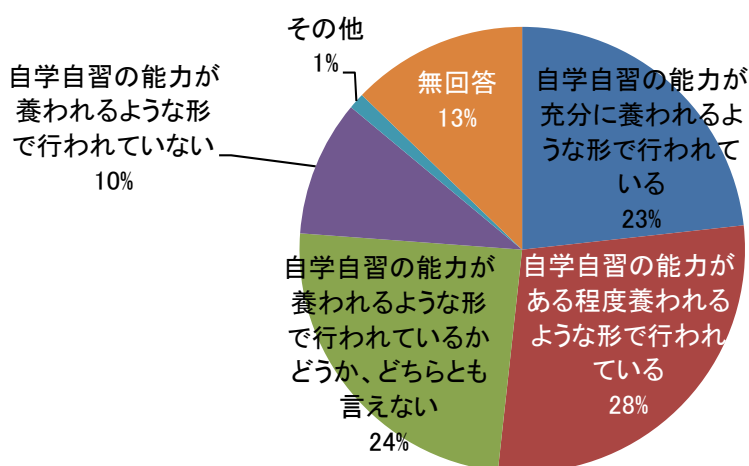
ほぼ予想したとおりにだったという回答が 44%、予想とはかなり違う面があったが十分に満足だったという回答が 45%であるのに対して、予想とは異なっており、少々失望したが 7%、予想とは大きく異なっており、専修変更も考えたが 2%という結果であった。専修の特徴をガイダンスを通して把握していた学生については満足度が高かったように思える。

5 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いませんか？



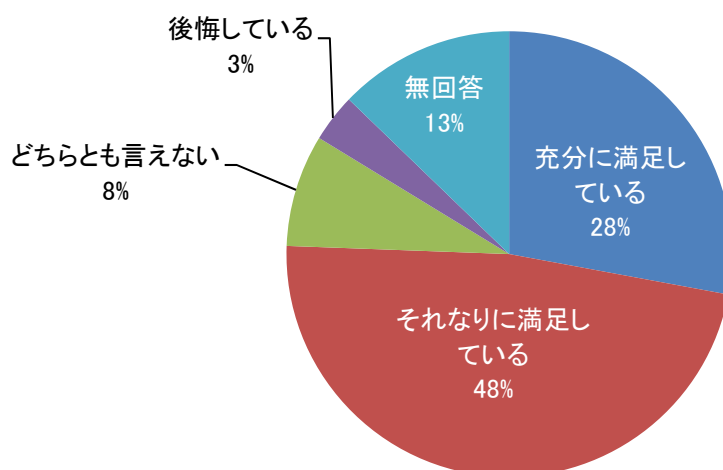
その必要は感じなかったという回答が 19%、系分属ガイダンス等があり充分であったが 26%、そうした機会はずっと多くても良いが 38%、強くそう思うが 13%、その他が 4%であった。約半数が研究室紹介の機会がより多くあることを望んでいることが分かる。昨年からは7月に1回生の研究室訪問および懇親会というイベントが学部として行われているために、現在でこの状況は改善されているように思われる。

6 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？



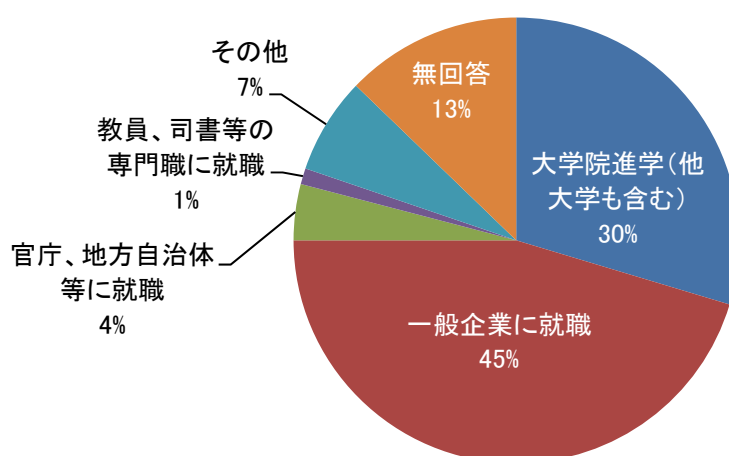
「自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている」という回答が 23%、「自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている」が 28%、この2つの合計は 51%であり、「自学自習の能力が養われるような形で行われていない」という回答は 10%であった。京都大学が掲げている理念は、大学院文学研究科の学生ほど感じ取られていないように思える。おそらく学部学生の場合には、基礎的な内容を授業で習得しなければいけないために、自立性の尊重を直接感じる機会が多くないのではないかと考えられる。

7 あなたは文学部で学んだことに満足していますか？



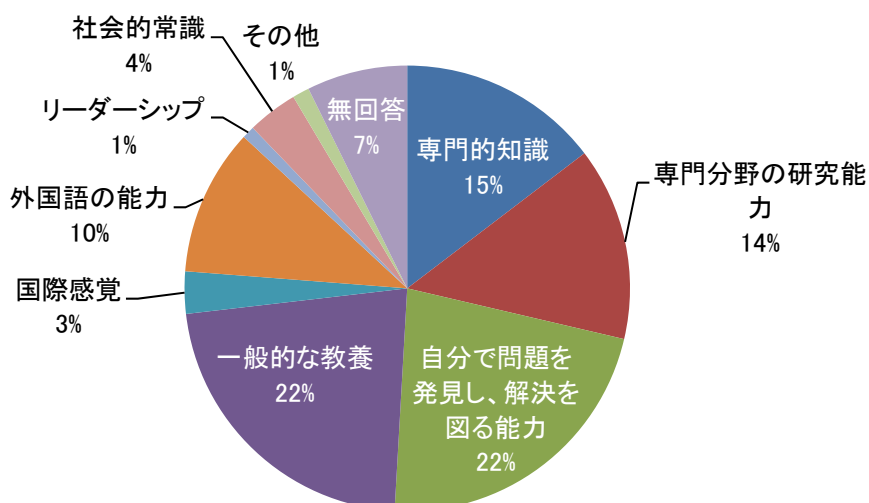
「十分に満足している」が28%、「それなりに満足している」が48%であり、「後悔している」が3%であることから、卒業生の満足度は高いと考えられる。ただ大学院の課程修了者が文学研究科に対して持つ満足度に比べるとやや低いように思える。オープンキャンパス以外にも、文学部を紹介する機会を増やすことが必要なのかもしれない。

8 4月以降の進路についてお聞きます



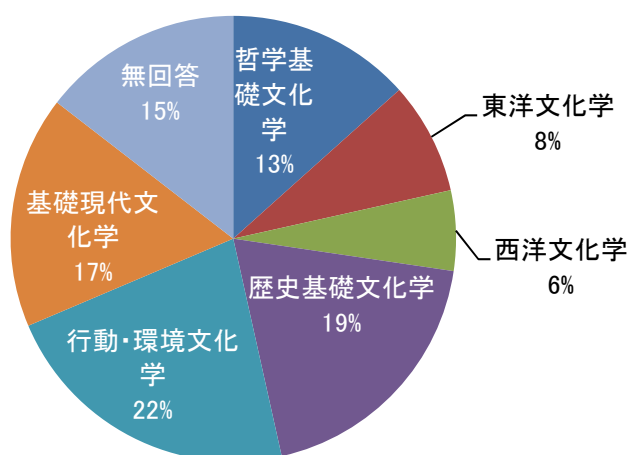
大学院進学という回答が30%、一般企業に就職が45%、官庁、地方自治体等に就職が4%、教員、司書等の専門職に就職が1%、その他、無回答が20%であった。一定の割合の大学院進学者がいる一方、かつてに比べると一般企業に就職する卒業生の割合が高くなっていることが分かる。

9 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？
(複数回答可)



専門的知識という回答が15%、専門分野の研究能力が14%、問題発見能力と解決能力が22%、一般的教養が22%、国際感覚が3%、外国語の能力が10%、リーダーシップが1%、社会的常識が4%であった。大学院修了者と比べると、一般的教養をあげた割合が高いが、それでも専門的知識や研究能力、問題発見能力と解決能力といった研究に関わる内容が約半分を占めている。このことから学部教育の段階においても、研究者養成に向けて一定の効果が得られているように思われる。

10 お差し支えなければ、あなたが属していた系をお教えてください



3.3 データ

文学部卒業生アンケート（全体）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	50
b. いいえ	122
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	51
b. 入学直後に決めた。	10
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	16
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	85
e. その他	10
○ガイダンスに参加せずWebで調べて決めた ○転部なので理学部3回生 ○学士入学 ○2回生の終わり ○転学の際に決めた ○転専修 ○3回生のとき ○覚えていない	
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	147
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が気に入った。	35
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	2
d. 卒業のための単位認定が比較的安かつ確実に得られそうだった。	8
e. その他	3
○学歴 ○消去法でそれしか選択肢が残らなかった+研究領域の広さが魅力 ○個人的な理由	
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	76
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	77
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	13
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	3
e. その他	3
○予想と違って苦労したが、得るものも大きかったように思う ○色々ありました ○予想とはまたちがうおもしろさがあった	
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	32
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	45
c. そうした機会はもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	65
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい	22
e. その他	8
○あんなものだと思います。その研究室に興味があるなら自分で調べと思う ○1回生から学部の授業を受けたかった ○転部のため ○機会を増やすよりも、1回の機会の質を高めてほしい。卒論までの具体的な道筋を知る機会があればよい ○自分が志望していた分野以外の情報があれば他の可能性も考えられた ○放任すべきだと思う ○1～2回生と4回生、修士、博士の人達とのつながりを深めるような企画がもっとたくさんあってもよいと思う ○教授の方々以外に、上回生、院生等学生の声も聞けたらよかったですと思います ○特に困ったことはなかった	
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	40
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	49
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	42
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	17
e. その他	2
○授業の「自学自習」にあまり関連性がないと思う ○個人によるところが大きいように思う ○プリンピカがつぶれたのが残念	
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	48
b. それなりに満足している。	82
c. どちらとも言えない。	14
d. 後悔している。	6

8. 4月以降の進路についてお聞きします。	(人数)
a. 大学院進学(他大学も含む)	51
b. 一般企業に就職	78
c. 官庁、地方自治体等に就職	7
d. 教員、司書等の専門職に就職	2
e. その他	12
○他大学学部生 ○公務員試験準備 ○僧侶 ○未定 ○科目等履修生 ○福祉職 ○聴講生 ○他大学学部へ ○就職活動	

9. 文学部で学んだこと・身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？(複数回答可)	(人数)
a. 専門的知識	48
b. 専門分野の研究能力	46
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	73
d. 一般的な教養	73
e. 国際感覚	10
f. 外国語の能力	35
g. リーダーシップ	3
h. 社会的常識	12
i. その他	4
○良き仲間たち ○根気 ○人との関わりから学んだいろいろな考え方 ○人脈	

10. お差し支えなければ、あなたが属していた系をお教えてください。	(人数)
a. 哲学基礎文化学	23
b. 東洋文化学	14
c. 西洋文化学	10
d. 歴史基礎文化学	33
e. 行動・環境文化学	38
f. 基礎現代文化学	29
無回答	25

文学部卒業生アンケート（哲学基礎文化学系）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	4
b. いいえ	19
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	6
b. 入学直後に決めた。	0
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	1
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	13
e. その他 ○ガイダンスに参加せずWebで調べて決めた ○転部なので理学部3回生	3
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	19
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が気に入った。	7
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	0
d. 卒業のための単位認定が比較的安かた確実な得られそうだった。	0
4 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	10
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	9
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	3
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	0
e. その他 ○予想と違っていて、苦勞はしたが、得るものも大きかったように思う。	1
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	6
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	6
c. そうした機会はもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	6
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。	2
e. その他 ○1回生から学部の授業を受けたかった ○転部のため ○あんなものだと思います。その研究室に興味があるなら自分で調べと思う	3
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	8
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	9
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	2
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	3
e. その他 ○授業の「自学自習」にあまり関連性がないと思う。	1
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	7
b. それなりに満足している。	10
c. どちらとも言えない。	5
d. 後悔している。	1
8. 4月以降の進路についてお聞きます。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	10
b. 一般企業に就職	7
c. 官庁、地方自治体等に就職	3
d. 教員、司書等の専門職に就職	0
e. その他 ○他大学学部生 ○公務員試験準備	3
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	7
b. 専門分野の研究能力	8
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	13
d. 一般的な教養	11
e. 国際感覚	0
f. 外国語の能力	6
g. リーダーシップ	1
h. 社会的常識	1
i. その他 ○良き仲間たち	1

文学部卒業生アンケート（東洋文化学系）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	6
b. いいえ	8
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	7
b. 入学直後に決めた。	0
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	1
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	4
e. その他 ○学士入学 ○2回生の終わり	2
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	12
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気気に入った。	1
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	0
d. 卒業のための単位認定が比較的安いかつ確実に得られそうだった。	1
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	6
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	7
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	0
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	1
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	2
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	5
c. そうした機会はずっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	4
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。	2
e. その他	1
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	1
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	6
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	6
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	1
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	5
b. それなりに満足している。	6
c. どちらとも言えない。	3
8. 4月以降の進路についてお聞きします。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	6
b. 一般企業に就職	6
c. 官庁、地方自治体等に就職	0
d. 教員、司書等の専門職に就職	0
e. その他 ○僧侶	2
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	4
b. 専門分野の研究能力	4
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	4
d. 一般的な教養	5
e. 国際感覚	0
f. 外国語の能力	2
g. リーダーシップ	0
h. 社会的常識	1
i. その他 ○根気	1

文学部卒業生アンケート（西洋文化学系）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	2
b. いいえ	8
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	3
b. 入学直後に決めた。	0
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	1
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	5
e. その他 ○転学の際に決めた	1
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	6
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が気に入った。	4
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	0
d. 卒業のための単位認定が比較的安全かつ確実に得られそうだった。	1
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	4
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	6
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	0
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	0
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	1
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	2
c. そうした機会がもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	6
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい	1
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	2
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	1
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	7
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	0
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	3
b. それなりに満足している。	5
c. どちらとも言えない。	2
8. 4月以降の進路についてお聞きます。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	2
b. 一般企業に就職	6
c. 官庁、地方自治体等に就職	0
d. 教員、司書等の専門職に就職	1
e. その他 ○未定	1
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	4
b. 専門分野の研究能力	3
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	3
d. 一般的な教養	5
e. 国際感覚	3
f. 外国語の能力	7
g. リーダーシップ	1

文学部卒業生アンケート（歴史基礎文化学系）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	8
b. いいえ	25
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	15
b. 入学直後に決めた。	1
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	3
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	13
e. その他	1
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	31
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が入った。	5
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	0
d. 卒業のための単位認定が比較的安いかつ確実に得られそうだった。	0
e. その他 <input type="checkbox"/> 学歴	1
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	11
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	18
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	3
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	1
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	9
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	6
c. そうした機会はもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	11
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。	4
e. その他	3
<input type="checkbox"/> 機会を増やすよりも、1回の機会の質を高めてほしい。卒論までの具体的な道筋を知る機会があれば。	
<input type="checkbox"/> 自分が志望していた分野以外の情報があれば他の可能性も考えられた。	
<input type="checkbox"/> 放任すべきだと思う。	
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	8
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	12
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	8
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	4
e. その他 <input type="checkbox"/> 個人によるところが大きいように思います	1
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	9
b. それなりに満足している。	23
c. どちらとも言えない。	1
d. 後悔している。	0
8. 4月以降の進路についてお聞きします。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	11
b. 一般企業に就職	15
c. 官庁、地方自治体等に就職	2
d. 教員、司書等の専門職に就職	1
e. その他 <input type="checkbox"/> 科目等履修生 <input type="checkbox"/> 福祉職 <input type="checkbox"/> 聴講生	4
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	12
b. 専門分野の研究能力	13
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	12
d. 一般的な教養	19
e. 国際感覚	3
f. 外国語の能力	7
g. リーダーシップ	0
h. 社会的常識	3
i. その他 <input type="checkbox"/> 良き仲間たち	1

文学部卒業生アンケート（行動・環境文化学系）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	13
b. いいえ	25
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	11
b. 入学直後に決めた。	4
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	5
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	17
e. その他 ○転専修	1
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	34
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が気に入った。	8
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	2
d. 卒業のための単位認定が比較的安かつ確実に得られそうだった。	3
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	20
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	17
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	1
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	0
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	7
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	12
c. そうした機会がもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	12
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。	7
e. その他	1
○1～2回生と4. M. Dの人達とのつながりをふかめるような企画がもっとたくさんあってもよいと	
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が充分に養われるような形で行われている。	10
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	12
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	13
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	3
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	13
b. それなりに満足している。	22
c. どちらとも言えない。	2
d. 後悔している。	1
8. 4月以降の進路についてお聞きます。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	12
b. 一般企業に就職	24
c. 官庁、地方自治体等に就職	1
d. 教員、司書等の専門職に就職	0
e. その他 ○他大学学部へ	1
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	14
b. 専門分野の研究能力	10
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	22
d. 一般的な教養	16
e. 国際感覚	3
f. 外国語の能力	2
g. リーダーシップ	1
h. 社会的常識	4
i. その他 ○人との関わりから学んだいろいろな考え方	1
無回答	1

文学部卒業生アンケート（基礎現代文化学系）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	11
b. いいえ	18
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	1
b. 入学直後に決めた。	3
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	3
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	22
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	25
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が入った。	5
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	0
d. 卒業のための単位認定が比較的簡単かつ確実に得られそうだった。	1
e. その他	1
○消去法でそれしか選択肢が残らなかった。研究領域の広さが魅力。	
無回答	1
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	15
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	12
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	2
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	0
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	2
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	10
c. そうした機会がもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	14
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。	3
e. その他	0
○教授の方々以外に、上回生、院生等学生の声も聞けたらよかったです。	
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	10
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	8
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	6
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	5
e. その他	1
○ブンピカがつぶれたのが残念	
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	10
b. それなりに満足している。	15
c. どちらとも言えない。	1
d. 後悔している。	3
8. 4月以降の進路についてお聞きます。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	9
b. 一般企業に就職	18
c. 官庁、地方自治体等に就職	1
d. 教員、司書等の専門職に就職	0
e. その他 ○就職活動	1
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	6
b. 専門分野の研究能力	7
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	17
d. 一般的な教養	14
e. 国際感覚	1
f. 外国語の能力	10
g. リーダーシップ	0
h. 社会的常識	3
i. その他 ○人脈	1
無回答	1

文学部卒業生アンケート（所属不明）

1. あなたは入学前に京都大学オープンキャンパスに参加しましたか？	(人数)
a. はい	6
b. いいえ	19
2. あなたが自分の所属する専修への志望を決定したのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 入学以前にすでに決めていた。	8
b. 入学直後に決めた。	2
c. 1回生の分属ガイダンスに参加した際に系の選択と同時に決めた。	2
d. 2回生の分属ガイダンスに参加してから決めた。	11
e. その他 ○覚えてないです ○3回生の時	2
3. 志望動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. その専修で行なわれている研究の分野に興味があった。	20
b. 教員や先輩たちの人柄、研究室の雰囲気が入った。	5
c. 同級生の友人と同じ専修にしたかった。	0
d. 卒業のための単位認定が比較的安かつ確実に得られそうだった。	2
e. その他 ○個人的な理由	1
4. 実際に専修に進学してみてどうでしたか？	(人数)
a. ほぼ予想したとおりだった。	10
b. 予想とはかなり違う面があったが、これはこれで十分に満足だった。	8
c. 予想とは異なっており、少々失望した。	4
d. 予想とは大きく異なっており、専修変更も考えた。	1
e. その他 ○色々ありました ○予想とはまたちがうおもしろさがあった	2
5. 分属決定前、2回生までに専修の様子を知る機会がもっとある方が良かったと思いますか？	(人数)
a. 自分の志望専修が当初からはっきりしていたので、その必要はまったく感じなかった。	5
b. 当初は戸惑いもあったが、分属ガイダンス等が催されており、これで充分だった。	4
c. そうした機会がもっと多くても良いと思う。情報不足からある程度悩んだ。	12
d. 強くそう思う。7月の文学部オープンハウス、1回生向けガイダンス等のような機会を増やして欲しい。	3
e. その他 ○特に困ったことはなかった	1
6. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学部での授業について、どのように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	1
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	1
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	0
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	1
e. その他	0
無回答	22
7. あなたは文学部で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	1
b. それなりに満足している。	1
c. どちらとも言えない。	0
d. 後悔している。	1
e. その他	0
無回答	22
8. 4月以降の進路についてお聞きます。	(人数)
a. 大学院進学（他大学も含む）	1
b. 一般企業に就職	2
c. 官庁、地方自治体等に就職	0
d. 教員、司書等の専門職に就職	0
e. その他	0
無回答	22
9. 文学部で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	1
b. 専門分野の研究能力	1
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	2
d. 一般的な教養	3
e. 国際感覚	0
f. 外国語の能力	1
g. リーダーシップ	0
h. 社会的常識	0
i. その他	0
無回答	22

4. 文学研究科修士課程修了者アンケート

4.1 アンケート本紙

京都大学文学研究科修士課程修了者アンケート

京都大学大学院文学研究科の教育・研究環境をより良くしていくためのアンケートにご協力をお願いいたします。回答にあたっては、該当する項目に○印を付けてください。

1. あなたの出身大学・学部等についてお聞きします。
 - a. 京都大学以外の日本国内の大学
 - b. 京都大学の他学部、研究科等
 - c. 京都大学文学部
 - d. 日本以外の大学
 - e. その他

2. あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？
 - a. 学部入学後
 - b. 系分属後（2回生のとき）
 - c. 専修分属後（3回生のとき）
 - d. 4回生になってから
 - e. 大学卒業後、社会に出てから
 - f. その他（ ）

3. 進学動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）
 - a. あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。
 - b. 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。
 - c. 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。
 - d. 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。
 - e. その他（ ）

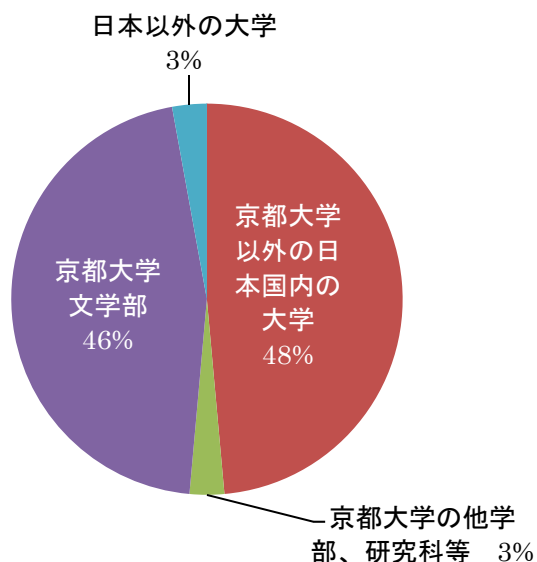
4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としてい
ますこれに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、ど
のように考えますか？
 - a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。
 - b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。
 - c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも
言えない。
 - d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。
 - e. その他（ ）

5. あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？
- a. 十分に満足している。
 - b. それなりに満足している。
 - c. どちらとも言えない。
 - d. 後悔している。
 - e. その他 ()
6. 4月以降の進路についてお聞きします。
- a. 博士課程進学 (他大学も含む)
 - b. 博士課程進学の準備
 - c. 一般企業に就職
 - d. 官庁、地方自治体等に就職
 - e. 教員、司書等の専門職に就職
 - f. その他 ()
7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。(複数回答可)
- a. 専門的知識
 - b. 専門分野の研究能力
 - c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力
 - d. 一般的な教養
 - e. 国際感覚
 - f. 外国語の能力
 - g. リーダーシップ
 - h. 社会的常識
 - i. その他 ()
8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。
東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・
歴史文化学・行動文化学・現代文化学
9. その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

4.2 結果と分析

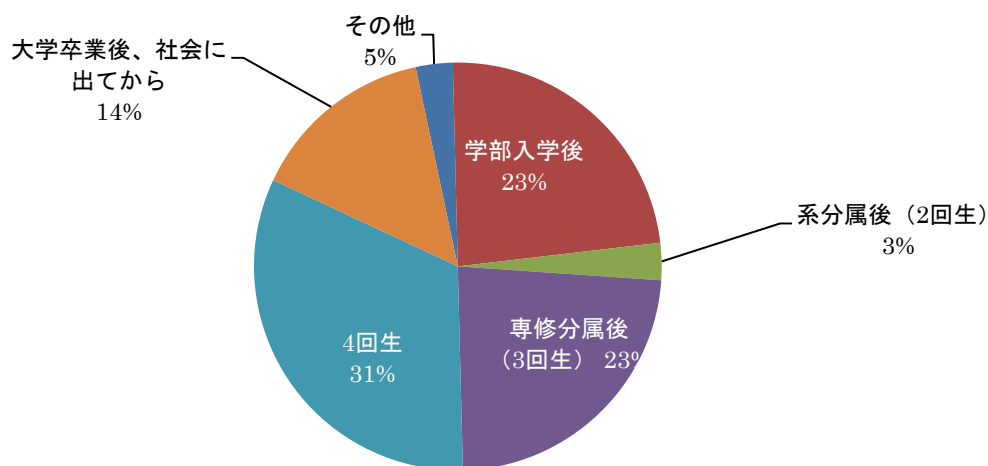
対象者数 102 人 提出者数 35 人 回収率 34%

1. あなたの出身大学・学部は？



京都大学文学部出身者と国内他大学出身者がほぼ半々であり、全体の94%を占める。京都大学の他学部出身者と外国の大学出身者も1人ずついる。

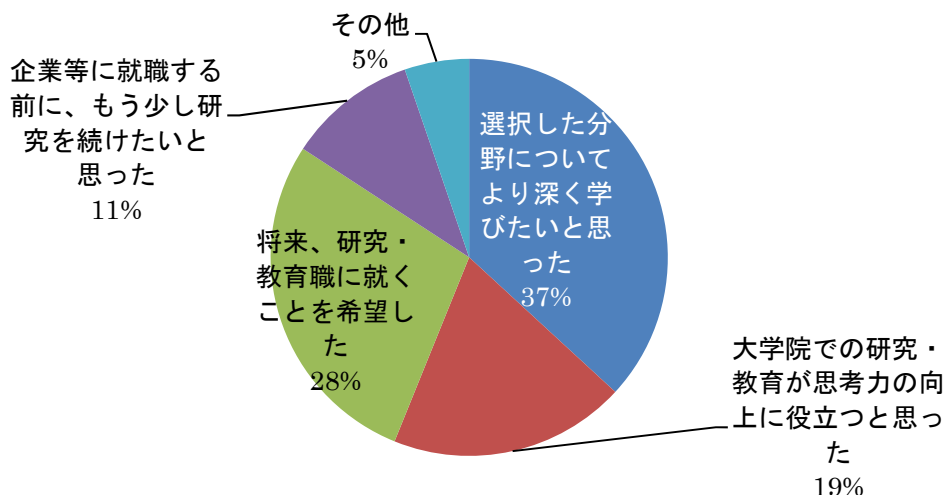
2. 大学院へ進むことを決めた時期は？



学部入学後という回答が23%、系分属後(2回生のとき)が3%、専修分属後が23%、4回生になってからが31%、大学卒業後、社会に出てからが14%、その他が5%であった。学部入学後に大学院進学を決めていた修了者もいるが、半数以上は3回生と4回生のときであり、とくに4回生になってからという回答が31%と最も多い。このことは、専門教育を受けるようになってから、特に卒業論文に取り組むようになってから研究の面白さが徐々に認識できるようになり、大学院でより深く学ぶことを決断したと受け取ることができる。

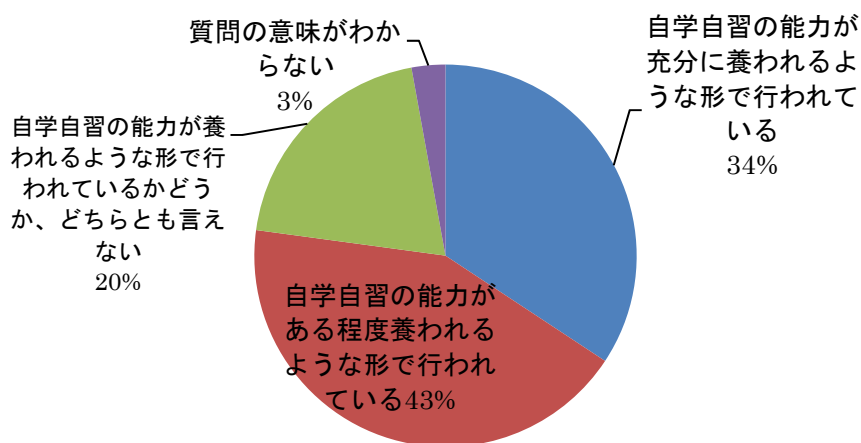
一方で、専修分属以前の2回生のときに決めたという修了生がわずか1名であることから、大学院進学への動機付けが2回生の時期にあまり見出せないという状況にあるように思える。

3. 進学動機のなかで重要な位置を占めた要因は？（複数回答可）



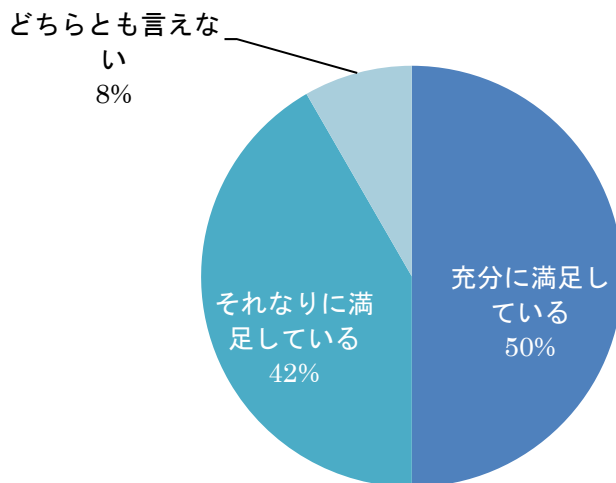
研究の深化という回答が37%、思考力の向上が19%、研究・教育職への就職が28%、企業等への就職前の研究の継続が11%、その他が5%であった。この項目については複数回答が可であるが、やはりより深く学んだうえで研究・教育職に就くことを希望する修了生が多いように考えられる。これは研究大学院としての文学研究科の特徴が依然としてよく現れているように受け取れる。一方で、思考力の向上や企業等で働き始める前にもう少し学んでおきたいという回答も見過ごせない。これは、現在就職活動の開始が異常に早まった結果、学部4年だけでは十分に学問に取り組んだという実感が味わえないことを反映しているのかもしれない。

4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導についてどのように考えますか？



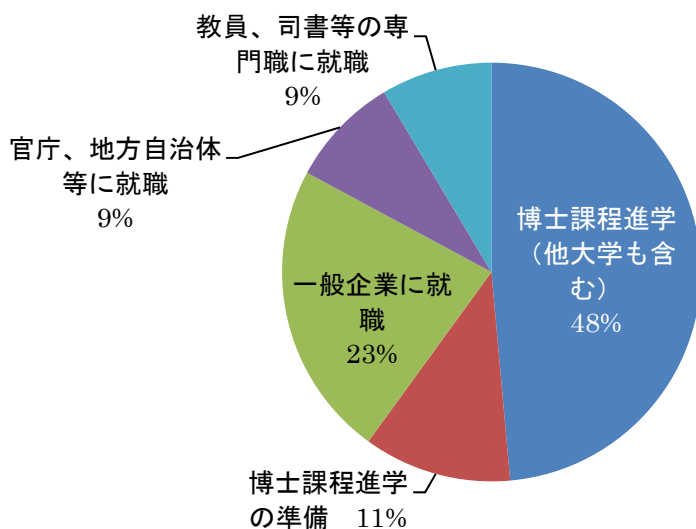
「自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている」という回答が34%、「自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている」が43%、この2つの合計は77%であり、「自学自習の能力が養われるような形で行われていない」という回答は皆無であった。このことから、京都大学の理念が文学研究科修士課程の教育、研究指導においてもよく表れていると考えられる。

5. 京都大学文学研究科修士課程で学んだことに満足していますか？



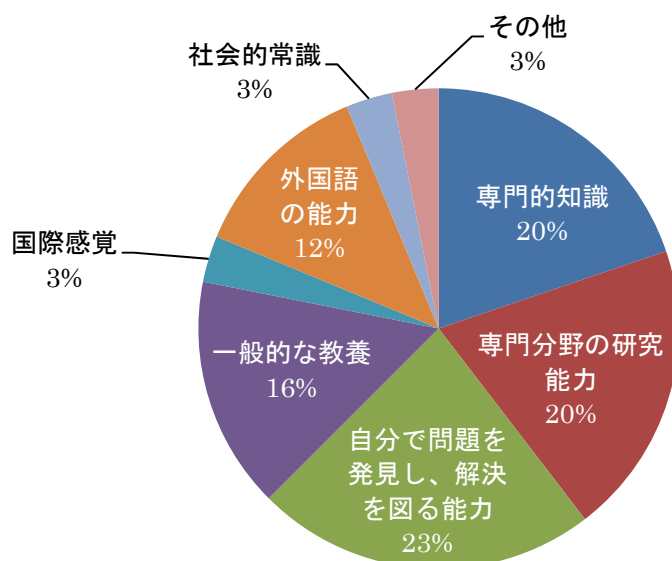
「十分に満足している」が50%、「それなりに満足している」が42%であり、「後悔している」が0%であることから、修了生の満足度はきわめて高いと考えられる。

6. 修士課程修了後の進路は？



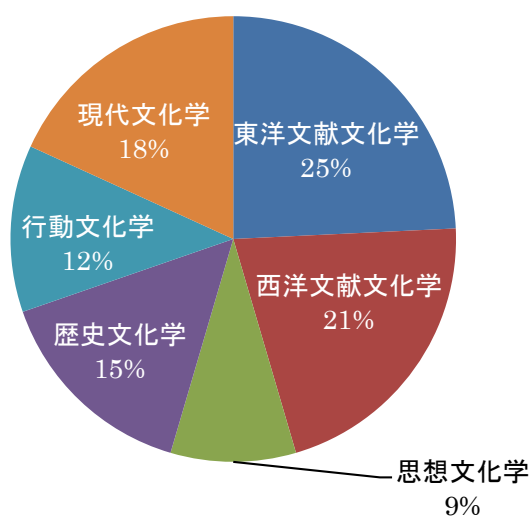
博士課程進学という回答が48%、博士課程進学への準備が11%、一般企業に就職が23%、官庁、地方自治体等に就職が9%、教員、司書等の専門職に就職が9%であった。修士課程修了後、博士課程に進学する、あるいは進学を希望する割合はほぼ6割である。それに対して、終了後に就職する割合もほぼ4割であり、以前とは違い、修士終了後に就職する割合がかなり高くなっている。

7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、で今後役立つと考えられるものは？（複数回答可）



専門的知識という回答が20%、専門分野の研究能力が20%、問題発見能力と解決能力が23%、一般的な教養が16%、国際感覚が3%、外国語の能力が12%、リーダーシップが0%、社会的常識が3%、その他が3%であった。一般的教養や外国語能力といった実学的な内容よりも、専門的知識や研究能力といった将来研究者となるための素養が高い割合を占めている。これは、文学研究科が研究大学院として機能していることを裏付けていると言えるだろう。しかしながら、問題発見能力と解決能力は、研究面だけでなく一般社会でも生かされるように考えられる。

8. あなたが属していた専攻は？



4.3 データ

1. あなたの出身大学・学部等についてお聞きします。	(人数)
a. 京都大学以外の日本国内の大学	17
b. 京都大学の他学部、研究科等	1
c. 京都大学文学部	16
d. 日本以外の大学	1
2. あなたが大学院へ進むことを決めたのはいつ頃でしたか？	(人数)
a. 学部入学後	8
b. 系分属後（2回生のとき）	1
c. 専修分属後（3回生のとき）	8
d. 4回生になってから	11
e. 大学卒業後、社会に出てから	5
f. その他 ○大学受験時より ○学部入学前	2
3. 進学動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）	(人数)
a. あなたが選んだ研究分野についてより深く学びたいと思った。	21
b. 大学院での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。	11
c. 将来、研究・教育職に就くことを希望した。	16
d. 企業等に就職する前に、もう少し研究を続けたいと思った。	6
e. その他	3
○修士の2年間で、研究はもちろん、他の分野や学問以外のことなど、幅広く経験したかったから。 また就職活動の期間にあてたいという考えもあった。	
○教職の専修免許が欲しかった。	
○そのころは単純に勉強することが楽しかったから。	
4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どの ように考えますか？	(人数)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	12
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	15
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	7
d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	0
e. その他 ○質問の意味がわからない	1
5. あなたは文学研究科で学んだことに満足していますか？	(人数)
a. 十分に満足している。	18
b. それなりに満足している。	15
c. どちらとも言えない。	3
d. 後悔している。	0
6. 4月以降の進路についてお聞きします。	(人数)
a. 博士課程進学（他大学も含む）	17
b. 博士課程進学の準備	4
c. 一般企業に就職	8
d. 官庁、地方自治体等に就職	3
e. 教員、司書等の専門職に就職	3
7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものを挙げてください。（複数回答可）	(人数)
a. 専門的知識	19
b. 専門分野の研究能力	19
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	22
d. 一般的な教養	15
e. 国際感覚	3
f. 外国語の能力	12
g. リーダーシップ	0
h. 社会的常識	3
i. その他	3
○多角的・相対的なものの見方、安易な解答を疑う批判力	
○多様な人生観	
○とりあえずやってみれば何とかなるということがわかったこと	
8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻名の前に○印を付してください。	(人数)
東洋文献文化学	8
西洋文献文化学	7
思想文化学	3
歴史文化学	5
行動文化学	4
現代文化学	6

5. 文学研究科博士後期課程修了者アンケート

5.1 アンケート本紙

京都大学文学研究科博士後期課程を終えられた方へのアンケート

京都大学大学院文学研究科の教育・研究環境をより良くしていくためのアンケートにご協力をお願いいたします。回答にあたっては、該当する項目に○印を付してください。

1. あなたが修士課程を終えた大学についてお聞きします。
 - a. 京都大学大学院文学研究科
 - b. 京都大学の他研究科
 - c. 京都大学以外の日本国内の大学
 - d. 日本以外の大学
 - e. その他 ()

2. あなたが博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？
 - a. 学部入学後
 - b. 4回生になってから
 - c. 修士課程進学後
 - d. 修士論文作成中
 - e. 修士課程修了後、社会に出てから
 - f. その他 ()

3. 博士後期課程で学ぶ動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）
 - a. 修士課程で選んだテーマの研究をより深めたいと思った。
 - b. 博士後期課程での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。
 - c. 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。
 - d. 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。
 - e. その他 ()

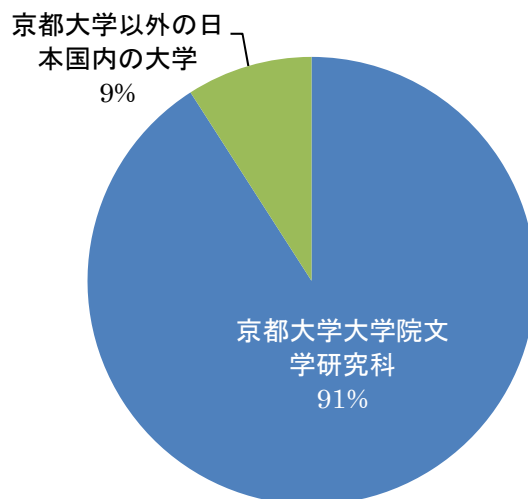
4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としていますこれに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？
 - a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。
 - b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。
 - c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。
 - d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。
 - e. その他 ()

5. あなたは文学研究科で学んだことについて満足していますか？
- 十分に満足している。
 - それなりに満足している。
 - どちらとも言えない。
 - 後悔している。
 - その他 ()
6. 4月以降の進路についてお聞きします。
- 大学・研究所等の研究（教育）機関に就職
 - 一般企業に就職
 - 官庁、地方自治体等に就職
 - 教員、司書等の専門職に就職
 - 日本学術振興会特別研究員
 - 研修員
 - その他 ()
7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）
- 専門的知識
 - 専門分野の研究能力
 - 自分で問題を発見し、解決を図る能力
 - 一般的な教養
 - 国際感覚
 - 外国語の能力
 - リーダーシップ
 - 社会的常識
 - その他
8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。
東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学
9. その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

5.2 結果と分析

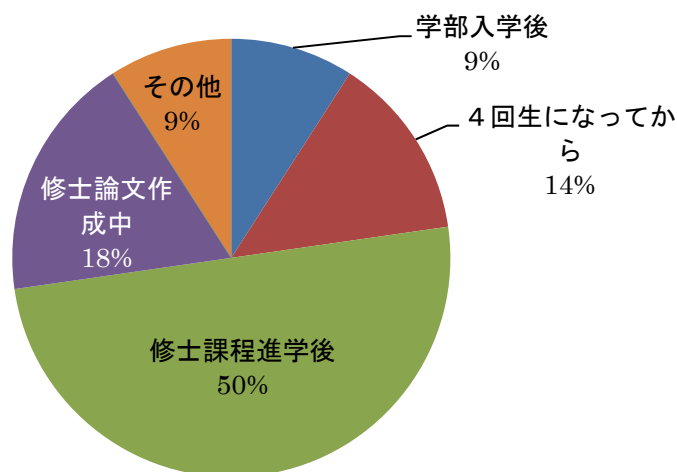
対象者 52名 回答者 22名 回収率 42%

1 あなたが修士課程を終えた大学は？



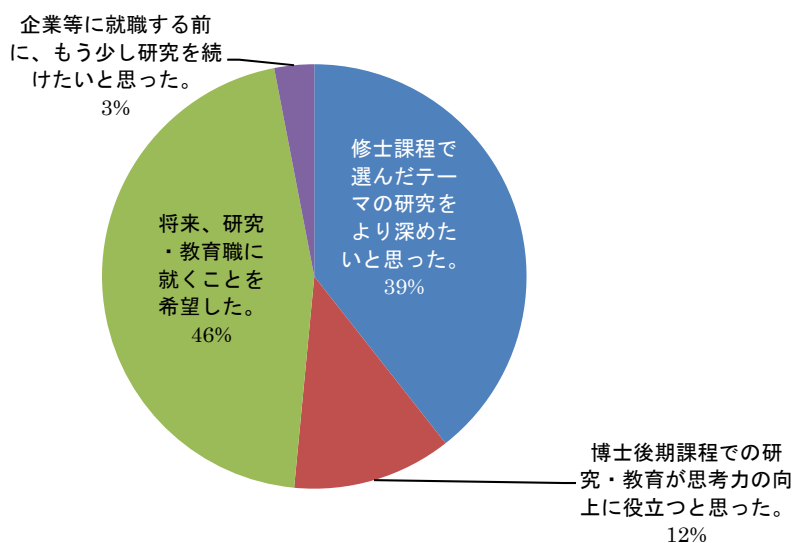
京都大学大学院文学研究科という回答が91%（20名）、国内の他大学が9%（2名）であった。他大学からの編入者がそれほど多くないことが分かる。

2 博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？



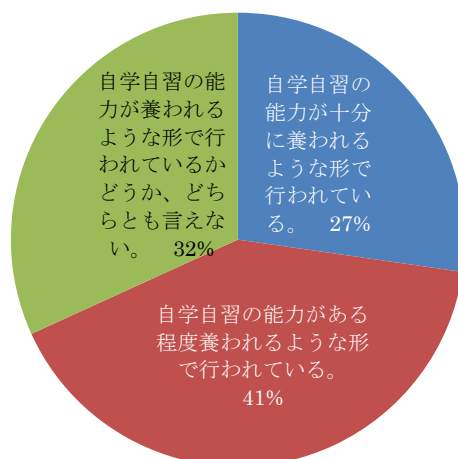
学部入学後という回答が9%、4回生になってからが14%、修士課程進学後が50%、修士論文作成中が18%、その他が9%であった。約7割が修士課程在籍中に博士後期課程への進学を決めていることから、研究意欲が増し、研究者としての将来に対する明確な志向が定まるのは、多くの場合修士課程の時期とすることができるだろう。

3 博士後期課程で学ぶ動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？
(複数回答可)



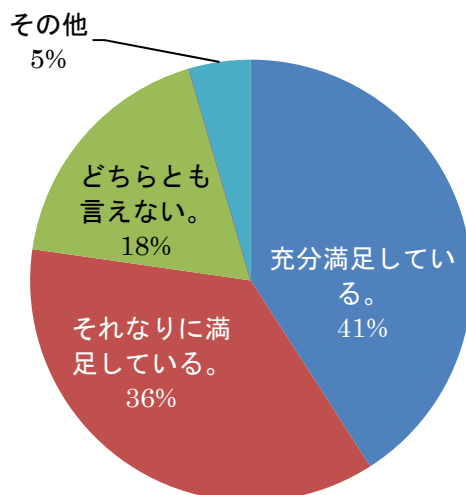
研究の深化という回答が 39%、思考力の向上が 12%、研究・教育職への就職が 46%、企業等への就職前の研究の継続が 3%であった。研究の深化と研究・教育職への就職という要因が合わせて 85%にも達するために、博士後期課程進学者の圧倒的多数が修士課程修了の段階で、研究を発展させて研究・教育職に就くことを希望していることが分かる。

4 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、文学研究科での授業・研究指導について、どのように考えますか？



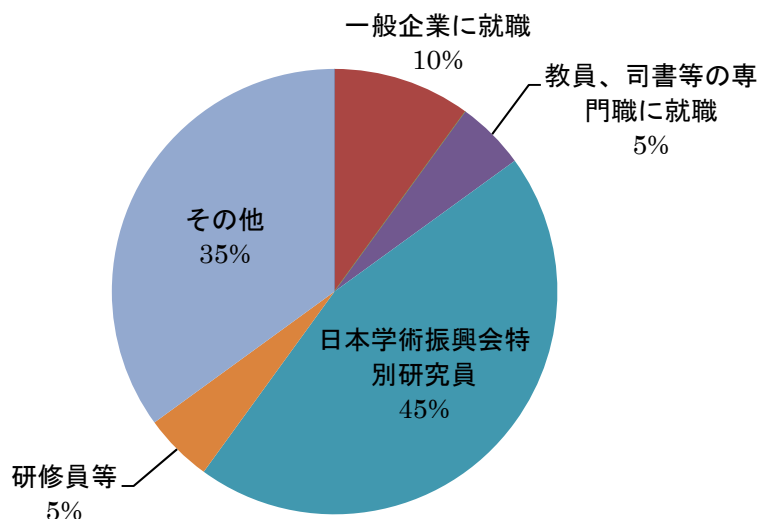
「自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている」という回答が 27%、「自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている」が 41%、この 2 つの合計は 68% であり、「自学自習の能力が養われるような形で行われていない」という回答は皆無であった。このことから、京都大学の理念が文学研究科博士後期課程の教育、研究指導においてもよく表れていると考えられる。

5 文学研究科で学んだことについて満足していますか？



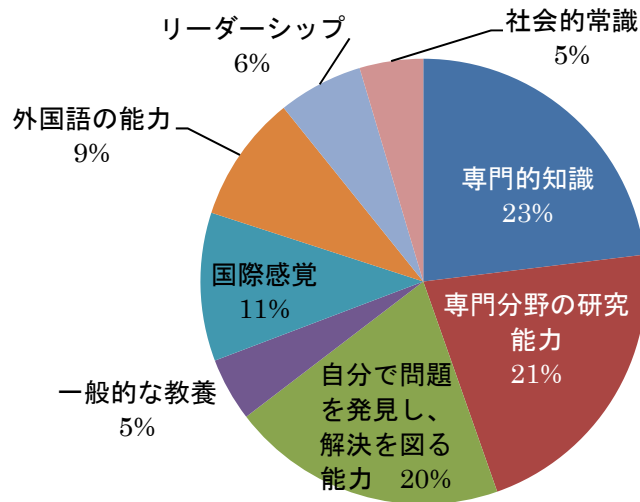
「充分に満足している」が41%、「それなりに満足している」が36%であり、「後悔している」が0%であることから、修了生の満足度はきわめて高いと考えられる。ただ修士課程修了者が文学研究科に対して持つ満足度に比べると割合が15%低くなっている。この理由をにわかに示すことはできないが、博士後期課程の学生は単位取得を求められることもなく、自立した研究者への道を歩み始めようとする時期であるので、修士課程のときほど濃密な教育を受ける機会が少なくなることと関係があるのかもしれない。

6 博士課程修了語の進路については？



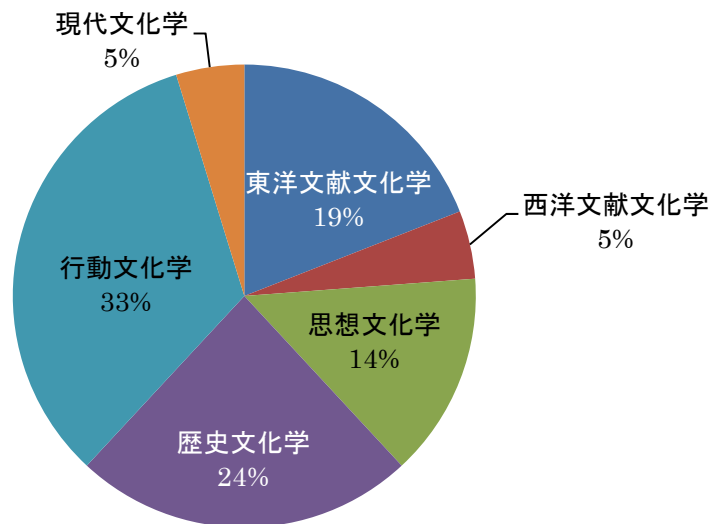
日本学術振興会特別研究員という回答が45%でもっとも多い。しかしながら、大学・研究所等の研究・教育機関に就職した修了者は1名もいなくて、研究・教育職への就職の厳しい現実がよく表れている。日本学術振興会特別研究員に採用された修了生は、終了後も研究を存分に発展させていくことのできる環境にあるが、そうでない修了生は研修員、聴講生、非常勤講師、研究機関での非正規雇用といった身分で研究を継続していかざるをえない。また一般企業や教員、司書等の専門職に就職した修了生も3名いる。

7 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）



専門的知識という回答が23%、専門分野の研究能力が21%、問題発見能力と解決能力が20%、一般的な教養が5%、国際感覚が11%、外国語の能力が9%、リーダーシップが6%、社会的常識が5%であった。修士課程修了者の場合よりもさらにいっそう、専門的知識や研究能力といった研究に特化した内容が高い割合を占めている。研究者養成という点では、文学研究科はその役割を十分に果たしていると考えられる。

8 あなたが属していた専攻は？



5.3 データ

1 あなたが修士課程を終えた大学についてお聞きます。		(人数)
a	京都大学大学院文学研究科	20
b	京都大学の他研究科	0
c	京都大学以外の日本国内の大学	2
d	日本以外の大学	0
2 あなたが博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？		(人数)
a	学部入学後	2
b	4回生になってから	3
c	修士課程進学後	11
d	修士論文作成中	4
e	修士課程修了後、社会に出てから	0
f	その他 <input type="checkbox"/> 高校時代から <input type="checkbox"/> 学部入学前	2
3 博士後期課程で学ぶ動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？ (複数回答可)		(人数)
a	修士課程で選んだテーマの研究をより深めたいと思った。	13
b	博士後期課程での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。	4
c	将来、研究・教育職に就くことを希望した。	15
d	企業等に就職する前に、もう少し研究を続けたいと思った。	1
4 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？		(人数)
a	自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	6
b	自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	9
c	自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	7
d	自学自習の能力が養われるような形では行われていない。	0
5 あなたは文学研究科で学んだことについて満足していますか？		(人数)
a	充分満足している。	9
b	それなりに満足している。	8
c	どちらとも言えない。	4
d	後悔している。	0
e	その他	1
6 4月以降の進路についてお聞きます。		(人数)
a	大学・研究所等の研究(教育)機関に就職	2
b	一般企業に就職	0
c	官庁、地方自治体等に就職	0
d	教員、司書等の専門職に就職	1
e	日本学術振興会特別研究員	9
f	研修員等	1
g	その他	7
<input type="checkbox"/> 聴講生 <input type="checkbox"/> 研究期間で非正規雇用 <input type="checkbox"/> 複数の大学で非常勤講師 <input type="checkbox"/> 専任としての就職先は決まっています <input type="checkbox"/> 未定		
7 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？(複数回答可)		(人数)
a	専門的知識	15
b	専門分野の研究能力	14
c	自分で問題を発見し、解決を図る能力	13
d	一般的な教養	3
e	国際感覚	7
f	外国語の能力	6
g	リーダーシップ	4
h	社会的常識	3
8 お差支えなければ、あなたが属していた専攻名の前に○印を付してください。		(人数)
	東洋文献文化学	4
	西洋文献文化学	1
	思想文化学	3
	歴史文化学	5
	行動文化学	7
	現代文化学	1

